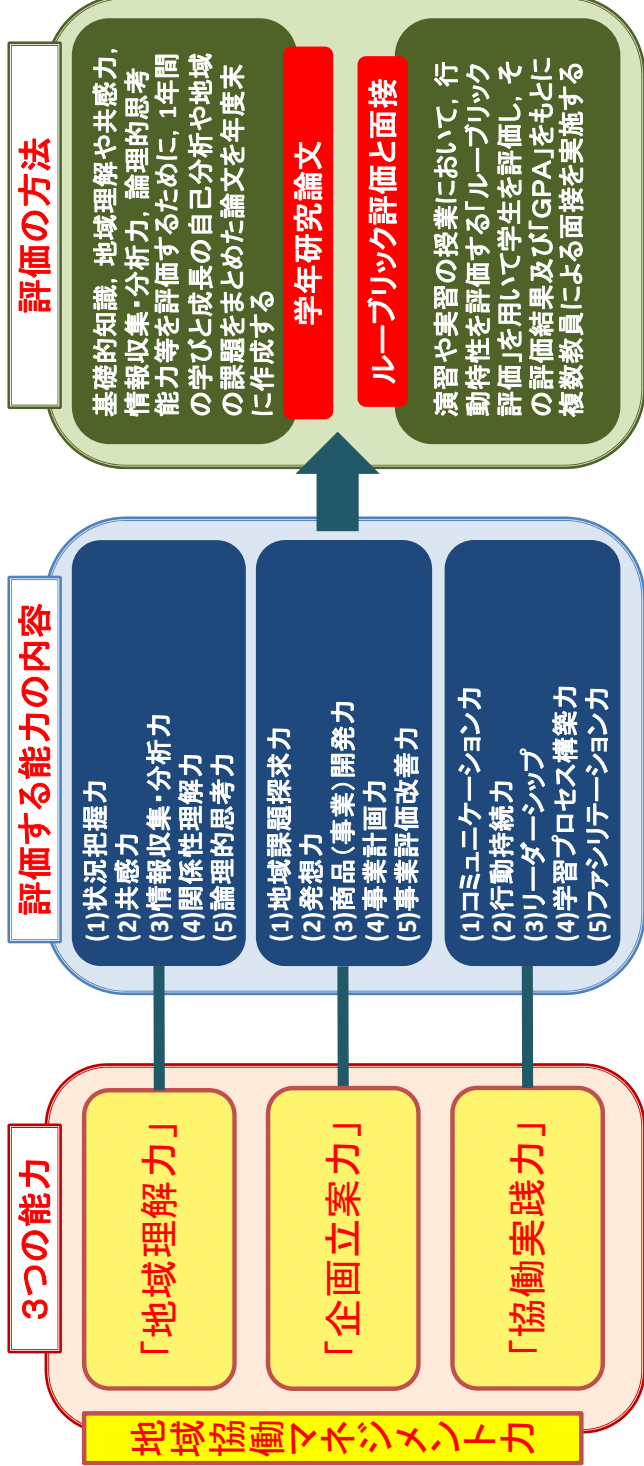


資料6 学年末関所（進級評価）の導入

「地域協働研究」における学年末“関所”（進級評価）の導入

学年末“関所”導入の目的

大学が「地域をキャンパス」にして、学生を地域に送り込む場合、「地域にお世話になる」、「地域で鍛えて頂く」といった姿勢だけでは不十分である。学生が地域で効果的・質の高い実習を行うためにも、そして、大学が地域に信頼され地域に対する“責任ある参加”をしていくためにも、事前の学生の能力の子エックや実習に向かう学生の質保証は避けては通れない課題である。そこで、地域協働学部では、**1年生から3年生までの全学生に学年末“関所”として必修科目「地域協働研究」を配置し、「学年研究論文」を作成させるとともに、本科目の単位認定を通じて「進級評価」を課すこととする。**この関所は単に学生の能力評価をするというものではなく、学生の学習支援を重視したものである。この「地域協働研究」は、実習だけを重視するような傾向に学生が陥らないように是正し、知識及び技法等の確実かつバランスのとれた習得＝「知の統合」を図るとともに、地域理解を深めていくという目的も有している。



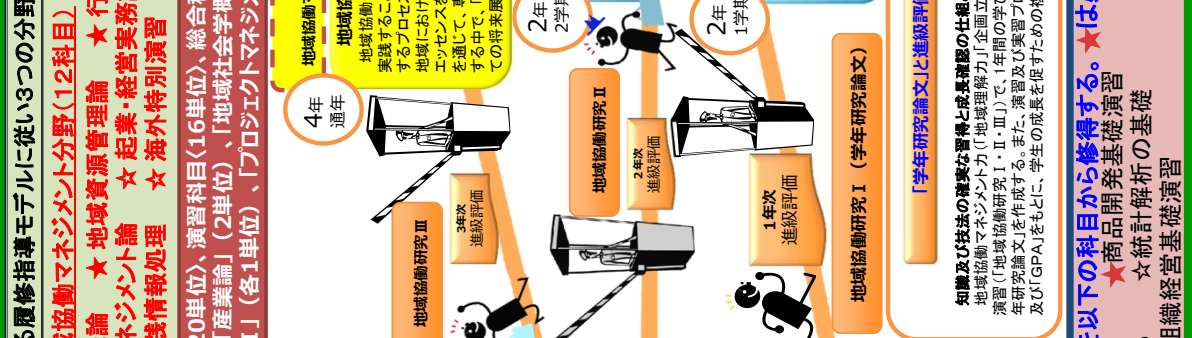
教養科目(22単位)「地域関連科目」を14単位以上を修得する。

- 地域産業分野 (13科目)**
 ☆は2年次科目 ☆は3年次科目
- ★フードビジネス論
 - ★農業振興論
 - ★六次産業化論
 - ★地域産業政策論
 - ★地域デザイン論
 - ★地域産業連関論
 - ★国際ビジネス展開論
 - ★中心市街地活性化論
 - ★森林経営学
 - ★食品生化学
 - ★国際農林水産物市場論

地域生活分野 (11科目)
 ☆は2年次科目 ☆は3年次科目

- ★地域福祉論
- ★生涯学習論
- ★環境社会学
- ★ダンス
- ★コミュニティ振興論
- ★地域スポーツ振興論
- ★地域スポーツ社会学
- ★地域防災論
- ★比較地域社会論
- ★ソーシャルキャピタル論
- ★非営利組織論
- ★家庭経営学
- ★環境文化論

専門必修科目(48単位) : 実習科目(20単位)、演習科目(16単位)、総合科目「地域協働論」(2単位)、「地域組織論」(2単位)、「地域協働マネジメント演習」(2単位)



地域協働マネジメント分野(12科目)
 ☆は2年次科目、☆は3年次科目

- ★地域計画論
- ★社会教育論
- ★組織学習論
- ★会計学概論
- ★ナレッジ・マネジメント論
- ★地域資源管理論
- ★起業・経営実務講座
- ★行政実務講座
- ★金融・税務実務講座
- ★実践情報処理
- ★海外特別演習
- ★外国語特別演習

共通専門科目(18単位) ※10単位以上を以下の科目から修得する。★は必修科目、☆は選択必修科目

- ★社会調査論
- ★ソーシャルシミュレーション演習
- ★企画立案事業計画基礎演習
- ★社会調査方法論
- ★チームワークを考える
- ★非営利組織経営基礎演習
- ★商品開発基礎演習
- ★統計解析の基礎
- ★質的調査法
- ★社会調査実習

「学年研究論文」と進級評価 (学年末「関所」)

知識及び技法の確かな習得と成長段階の仕組みの導入
 地域協働マネジメント力(「地域理解力」「企画立案力」「協働実践力」)を段階に応じて評価する。
 演習(「地域協働研究I・II・III」)で、1年間の学びと成長の自己分析や地域課題をまとめた「学年研究論文」を作成する。また、演習及び実習プロセスにおいて実施される「ルーブリック評価」及び「GPA」をもとに、学生の成長を促すための複数教員による面接も行う。

初年次科目(12単位)

「協働実践力」に関するルーブリック評価（例）

| 評価する能力 | 達成目標 | 評価基準 | | 手法 |
|------------|---|------|---|----|
| コミュニケーション力 | 地域において言語及び非言語的要素を通じた意思疎通を行い多くの人と信頼関係を構築することができる。 | 1年 | 地域の多様な年代の人々と会話することができる。 | 観察 |
| | | 2年 | 他者の意見を傾聴して、その気持ちや真意を尊重して会話することができる。 | |
| | | 3年 | 相手の気持ちを尊重して、相手に不快感を与えないタイミングや表現で、自分の意思や感情を相手に伝えることができる。 | |
| | | 4年 | 信頼関係の構築、折衝・交渉、説得など状況に合わせたコミュニケーションを行うことができる。 | |
| 行動持続力 | 困難や失敗に直面してもあきらめず課題解決に向かって地道に行動し続けることができる。 | 1年 | 指示された範囲の課題解決に向けて行動し続けることができる。 | 観察 |
| | | 2年 | 状況を判断して必要とされる行動を自ら起こし、それを継続しようとする意欲と姿勢がある。 | |
| | | 3年 | 状況を判断して必要とされる行動を自ら起こし、それを継続できる。 | |
| | | 4年 | リーダーシップを伴う行動を困難に直面しても継続できる。 | |
| リーダーシップ | 地域において、魅力ある目標を設定し、またその実現体制を構築して人々の意欲を高め成長させながら地域課題の解決を進めることができる。 | 1年 | 学生組織内においてリーダーシップを発揮しようとする意欲と姿勢がある。 | 観察 |
| | | 2年 | 学生組織内においてリーダーシップを発揮することができる。 | |
| | | 3年 | 地域においてリーダーシップを発揮しようとする意欲や姿勢がある。 | |
| | | 4年 | 地域においてリーダーシップを発揮することができる。 | |
| 学習プロセス構築力 | 地域課題解決に向けた学習プロセスを設計・構築でき、それを実施できる。 | 1年 | 集団または組織における学習の重要性を理解している。 | 試験 |
| | | 2年 | 学習プロセスで活用すべき技法について理解している。 | |
| | | 3年 | 学習プロセスを設計・構築して、実施できる。 | |
| | | 4年 | 地域の課題解決に向けて、より適した学習プロセスを設計・構築して、実施できる。 | |
| ファシリテーション力 | 会議、ミーティング等の場で、発言や参加を促したり、話しの流れを整理したり、参加者の認識の一致を確認したりする行為で介入し、合意形成や相互理解をサポートすることで参加者の協働を促進できる。 | 1年 | ファシリテーションの技法を基本的に理解している。 | 試験 |
| | | 2年 | 学生どうしの会議等で、発言や参加を促したり、話しの流れを整理したり、認識の一致を確認することができる。 | |
| | | 3年 | 地域の会議等で、発言や参加を促したり、話しの流れを整理したり、認識の一致を確認することができる。 | |
| | | 4年 | 参加者の協働を促進するようにファシリテーションができる。 | |

資料 7 地域協働学部の設置構想

地域協働学部(仮称)設置構想一趣旨と概要

教育改革の要点と人材育成像

地域協働マネジメント力を具えた地域協働型産業人材

人
材
像

- ◆次に掲げる3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出できる人材である「地域協働型産業人材」を育成する。
- (1) 複雑で多様な地域の特性を理解することのできる企画立案力
- (2) 地域資源を開発・活用するための企画を立てることができ企画立案力
- (3) 人や組織の協働を作り出し、その活動を促進することのできる協働実践力

地域産業振興の推進

第一次産業、第二次産業、第三次産業の協働により新発想を創出して地域産業を振興

日本経済再生

「食の6次産業化プロジェクト」等の国家的人材育成プロジェクトの推進による新成長戦略の達成
【全国課題】

入試改革

地域産業人材を志向する学生
高知県内出身学生
高知県内出身学生の確保
高知県内出身学生の確保
高知県内出身学生の確保

教育改革

地域産業振興に関する新たな課題に対応できる実践的な

キャリア支援改革

地域社会、同窓会、後援会等と連携したきめ細かい支援の推進

出口保証

支援体制の強化、充実

高知県内出身学生の確保

□AO入試 I (15名) 及び推薦入試 I (10名) の工夫

- ▶ **高大連携の推進**
一般入試への高知県出身志願者と重ならない新たな県内受験者層の掘り起こし。

入試におけるマッチング重視

□一般入試(35名)における面接
グループワークを含む授業が教育課程の大半を占める教育の特色に適合する学生を採用するため、推薦入試及びAO入試だけでなく一般入試においても面接(グループワークを含む)を実施する。

学部教育5つの特色

□即戦力養成を目指した特色ある実習授業の体系的配置

- ① **事業企画プロジェクト実習(2年次第2学期必修)**
▶ 地域資源の商品化に向けた事業計画立案のプロジェクトを行う。実習を通じて、商品(事業)開発力、事業計画力を身に付け、「企画立案力」の基礎を形成する。
- ② **地域協働マネジメント実習(3年次第1学期必修)**
▶ 2年次までに身に付けた能力や知識・技法を活かして活動するとともに、事業の評価を行う。実習を通じて、行動持続力、リーダーシップを身に付け、「協働実践力」の基礎を形成する。また、事業評価力を育成する。
- ③ **教えるプロジェクト実習(3年次第2学期必修)**
▶ 事業評価を基に、学習プロセスを設計・構築して、ワークシヨップを実施・運営し、事業改善案を策定する。実習を通じて、学習プロセス構築力、ファシリテーション力を身に付け、「協働実践力」を形成する。また、事業改善力を育成し、「企画立案力」を形成する。

□学年進級評価の導入と学生の成長を促す授業の配置

④ **「地域協働研究」(必修)を核とする「学年末“関所”**
▶ 知識及びスキル・技法等の確実かつハラスのとれた習得
＝「知の統合」を行う。

□社会人の学び直し機会提供

⑤ **学外実習授業、「地域協働マネジメント演習」の開放**
▶ 所定の内容を学修した社会人に対し修了認定を行う。ここでは社会人と学生がともに刺激しあって学び場を提供する。

支援体制の強化、充実

□キャリア支援室の設置
▶ 同窓会、後援会、地域協働教育推進会議(学部支援組織)との連携によるキャリア支援室の設置

キャリア形成に留意した教育内容の強化、充実

□地域協働型学習成果報告会の開催
▶ 同窓会、後援会、地域協働教育推進会議等との協働による学習成果報告会を実施して社会で通用するプレゼンテーション力、ネットワーキング力を育成する。

□長期インターンシップの実施
▶ 2年次第1学期に実施。

ガバナンス改革

□学部運営会議設置

▶ 地域のステークホルダーを過半数構成員とする会議で学部の基本方針(人事、予算、教育組織の改編等)を決定する。

□学長のガバナンス強化

▶ 学部長の選出等における学長の権限を強化することと社会のニーズに柔軟に対応する体制を構築する。

□地域協働教育推進会議の設置

▶ 外部支援と外部評価を一体化する仕組みを導入することで地域協働教育のPDCA推進を担保する。

資料 8 入学者選抜の方法

一般入試(前期日程)

- 募集定員 35名
- 重点評価項目

「知識・理解」に重点を置いて「思考・判断」「技能・表現」も評価します。

□選抜の方法
入試センター試験(500点)と本学独自の試験(600点)の合計1100点で判定します。

| 試験種別 | 概要 |
|----------------------|---|
| 大学入試センター試験 (500点) | 3教科3科目合計500点で実施します。 ・国語(200点)、外国語(200点)は必須です。 ・残り1科目は、数学、地歴、公民、理科の4教科から1科目を自由に選択できます。(各100点) これによって「知識・理解」について判定します。 |
| 小論文(200点) | 提示された課題について地域社会の問題に関する課題文章を参考者にまとめる小論文を課して「思考・判断」について判定します。 |
| 本学独自の試験 | |
| (4面接 400点) | グループ面接(グループ単位で提示されたテーマについて討議やプレゼンを行う作業を含む)を実施することで「技能・表現」について判定し本学部の教育に関する適性を評価します。 |

入学者選抜の方法

推薦入試 I

- 募集定員 10名
- 重点評価項目

「教科外活動」と「関心・意欲・態度」に重点を置いて「思考・判断」「技能・表現」も評価します。

□選抜の方法
出願資格として学校長の推薦(評定平均4.0以上、各校1名)を求めます。

| 試験種別 | 概要 |
|-------------------------------|--|
| グループ活動および振り返り演習 適性試験(200点) | グループ活動(協同して所定時間内で行える作業など)を行ってもらい、グループ活動中の行動特性や振り返り演習での役割などについて観察し、「技能・表現」の特にコミュニケーション力について判定します。 |
| 作文(100点) | グループ活動および振り返り演習適性試験の内容が、人間と地域社会に関わるなじみやすいテーマに関して、文章を書いてもらい、「技能・表現」の特に書き言葉での表現力について判定します。 |
| (1面接 100点) | 面接は、個人面接とし、志願理由書記載の志願理由を掘り下げ、本学部で学ぶ「意欲・関心・態度」、経験や技能(農業、水産、工業、商業、芸術等)などについて確認すると共に、本学部の教育カリキュラムへの適性を判断する。 |
| 本学独自の試験 | |

AO入試 I

- 募集定員 15名
- 重点評価項目

「関心・意欲・態度」に重点を置いて「思考・判断」「技能・表現」も評価します。

□選抜の方法
2段階選抜を実施します。1次試験の合格者は、募集定員の2倍程度とします。

| 試験種別 | 概要 |
|----------------|--|
| 本学独自の1次試験 | <p>(1) 志願書(100点)</p> <p>所定の様式に、自分の行動体験についての分析、本学科への志望理由、出身地域の社会に対する分析を記入してもらい、主に「関心・意欲・態度」を判定します。</p> <p>(2) 講義理解力試験(100点)</p> <p>約90分の講義を聴いてもらい、それを前提とした小論文等の形式の筆記試験を行い、主に「思考・判断」について判定します。</p> <p>(3) ゼミナール活動適性試験(100点)</p> <p>休憩を含め3時間程度のグループディスカッション(指定テーマに基づくグループ討議、発表、質疑)を行ってもらい、「技能・表現」の特にコミュニケーション力を判定します。</p> |
| 本学独自の2次試験 | <p>(1) 活動振り返り作文(100点)</p> <p>ゼミナールの討議内容、チーム運営の仕方、自分と他のメンバーの役割などについての評価を文章に書いてもらい、「技能・表現」の特に書き言葉での表現力について判定します。</p> <p>(2) 1面接(100点)</p> <p>志願票と2次試験の内容に基づく質問を個別面接の形式で問い、3つの重点評価項目について総合的に判定します。</p> |
| 本学独自の試験 | |

資料 9 授業時間割と実習授業のスケジュール

第1学期(※「産業論」と「地域社会学概論」は、担当教員の実習担当学年に応じて、年度ごとに入れ替える)

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | |
|---|---|---|---|---|---|---|----------------------------|
| 1 | 地域協働論 (専門必修:1年次) 食品生化学 (専門選択:3年次) 森林経営学 (専門選択:3年次) 社会教育論 (専門選択:3年次) | 藤岡 産業論 (専門必修:1年次) 中野 B 国際ビジネス論 (専門選択:3年次) | 湊 地域社会学概論 (共通専門:1年次) 大石 情報処理(初年次) 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | |
| 2 | 地域計画論 (専門必修:2年次) 環境社会学 (専門必修:2年次) 比較地域社会学 (専門必修:3年次) | 松本 地域協働企画立案実習 (専門必修:2年次) A 英会話(初年次) | A 英会話(初年次) A 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 平野 ナレッジマネジメント論 (専門選択:3年次) 須藤 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 須藤 起業・経営実務講座 (専門選択:3年次) 固定 ダンス (専門選択:2年次) | 情報処理(初年次) 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) A 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) B 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | 地域協働企画立案実習 (専門必修:2年次) A 英会話(初年次) A 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 平野 ナレッジマネジメント論 (専門選択:3年次) 須藤 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 須藤 起業・経営実務講座 (専門選択:3年次) 固定 ダンス (専門選択:2年次) | 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | |
| 3 | 社会調査方法 (共通専門:1年次) 組織学習論 (専門必修:2年次) 行政実務講座 (専門必修:3年次) 地域デザイン論 (専門必修:2年次) 生産学習論 (専門必修:2年次) | 大槻 課題探究実践セミナー(初年次) A組(1・2・4~6・8・9)(2班)・10・11・12 (1班)・13・15週) 池田 課題探究実践セミナー(初年次) B組(2・3・5・6)(2班)・7・9・10(1班)・ 11~15週) 鈴木 課題探究実践セミナー(初年次) A組(1・2・4~6・8・9)(2班)・10・11・12 (1班)・13・15週) 吉岡 課題探究実践セミナー(初年次) B組(2・3・5・6)(2班)・7・9・10(1班)・ 11~15週) 内田 課題探究実践セミナー(初年次) A組(1・2・4~6・8・9)(2班)・10・11・12 (1班)・13・15週) | B 上田 史田 市川 文雄 前田 尚平 中村 敬輝 | 須藤 チェムロークを専攻する (共通専門:1年次) 上田 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) 辻田 地域ポータルシステム論 (専門選択:2年次) | 地域協働企画立案実習 (専門必修:2年次) A 英会話(初年次) A 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 平野 ナレッジマネジメント論 (専門選択:3年次) 須藤 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 須藤 起業・経営実務講座 (専門選択:3年次) 固定 ダンス (専門選択:2年次) | 地域協働企画立案実習 (専門必修:2年次) A 英会話(初年次) A 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 平野 ナレッジマネジメント論 (専門選択:3年次) 須藤 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 須藤 起業・経営実務講座 (専門選択:3年次) 固定 ダンス (専門選択:2年次) | 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) |
| 4 | 地域協働実践・卒業研究 (専門必修:4年次) 課題探究実践セミナー (2・6)(2班)・10(1班)・13週) | A 上田 史田 市川 文雄 前田 尚平 中村 敬輝 | B 上田 史田 市川 文雄 前田 尚平 中村 敬輝 | 地域協働企画立案実習 (専門必修:2年次) A 英会話(初年次) A 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 平野 ナレッジマネジメント論 (専門選択:3年次) 須藤 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 須藤 起業・経営実務講座 (専門選択:3年次) 固定 ダンス (専門選択:2年次) | 地域協働企画立案実習 (専門必修:2年次) A 英会話(初年次) A 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 平野 ナレッジマネジメント論 (専門選択:3年次) 須藤 商品開発基礎実習 (共通専門:1年次) 須藤 起業・経営実務講座 (専門選択:3年次) 固定 ダンス (専門選択:2年次) | 地域協働マナジメント実習 (専門必修:3年次) | |
| 5 | 海外特別演習(専門必修:3年次) 外国語特別演習(専門必修:3年次) | 海外特別演習(専門必修:3年次) 外国語特別演習(専門必修:3年次) | 海外特別演習(専門必修:3年次) 外国語特別演習(専門必修:3年次) | 海外特別演習(専門必修:3年次) 外国語特別演習(専門必修:3年次) | 海外特別演習(専門必修:3年次) 外国語特別演習(専門必修:3年次) | 海外特別演習(専門必修:3年次) 外国語特別演習(専門必修:3年次) | |

【集中講義】

地域協働マナジメント演習Ⅰ(専門必修:3年次 第1学期前半の土日実習先地域で8回開講)
地域協働マナジメント演習Ⅱ(専門必修:3年次 第1学期後半の土日実習先地域で8回開講)
社会調査実習(共通専門科目:1年次)

海外特別演習(専門必修:3年次)
外国語特別演習(専門必修:3年次)

初年次科目
共通専門科目

総合科目
演習科目
実習科目

地域協働マナジメント分野
地域産業分野
地域生活分野

第2学期(※「フアンリテーション演習」と「地域組織論」は、担当教員の実習担当学年に応じて、年度ごとに入れ替える)

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|------------------------------|---|--|---------------------------------------|------|---|
| 1 | 非営利組織経営基礎演習 (共通専門:1年次~) | 家族経営学 (専門選択:3年次~) | 契約法 (共通専門:1年次~) | 地域組織論 (専門必修:1年次) | 内田 A | |
| | アートビジネス論 (専門選択:2年次~) | | 地域スポーツ社会学 (専門選択:2年次~) | | | |
| | コミュニケーション概論 (専門選択:2年次~) | | 大企業文化論 (専門選択:2年次~) | | | |
| 2 | ソーシャルキャピタル論 (専門選択:3年次~) | | 非営利組織論 (専門選択:3年次~) | 上田 | | 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第9・13週) |
| | 学問基礎論(初年次) | 会計学概論 (専門選択:2年次~) | 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (第1・3・6・10~12・15週) | 大学英語入門(初年次) | B | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第3・6・7・9・14週) |
| | プロジェクトマネジメント演習 (専門必修:2年次) | 地域情報処理 (専門必修:2年次) | 企業情報処理 (専門必修:2年次) | 地域協働研究II (専門必修:2年次) | A | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第1週) 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (第1・6・8・15週) 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第1・9・13・15週) |
| 3 | 大学英語入門(初年次) | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (全週) | 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (第1・3・6・10~14週) | 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第1~14週) | B | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第3・6・7・9・14週) |
| | 地域協働研究II (専門必修:3年次) | | 行状論 (専門必修:2年次~) | 鈴木 | | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第1週) 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (第1・6・8・15週) 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第1・9・13・15週) |
| | | | 地域資源管理論 (専門必修:2年次~) | 市川 | | |
| 4 | 企画立案事業計画基礎演習 (共通専門:1年次~) | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (全週) | 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (全週) | 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第1~14週) | B | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第3・6・7・9・14週) |
| | 農業概論 (専門必修:2年次~) | 環境文化論 (専門必修:3年次~) | 金融・格差業務講座【非常勤】 (専門必修:3年次~) | 石筒 | | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第1週) 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (第1・6・8・15週) 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第1・9・13・15週) |
| | 地域産業連関論 (専門必修:3年次~) | | 園遊園地・林産物市場論 (専門必修:3年次~) | 固定 | | |
| 5 | フアンリテーション演習 (共通専門:1年次~) | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第1・4・5・7~9・11~15週) | 企業企画プロジェクト実習 (専門必修:2年次) (全週) | 教えるプロジェクト実習 (専門必修:3年次) (第1~14週) | B | 地域理解実習 (専門必修:1年次) (第7・14週) |
| | 地域協働実践・卒業研究 (専門必修:4年次) | | | 玉里 | | |
| | | | | 地産地消論 (専門必修:2年次~) | | |

【集中講義】

社会調査実習(共通専門科目:1年次~)

初年次科目
共通専門科目

多量解析(共通専門科目:1年次~)

総合科目
演習科目
実習科目

地域協働マネジメント分野
地域産業分野
地域生活分野

第1学期の実習授業のスケジュール

| 配当 年次 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|----------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 1 | 課題探求 A組 火(3・4・5) 日(2・3・4) | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 なし | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 火(3・4・5) |
| 1 | 課題探求 B組 なし | 課題探求 B組 火(3・4・5) 日(2・3・4) | 課題探求 B組 火(3・4) | 課題探求 B組 なし | 課題探求 B組 火(3・4) |
| 2 | 地域協働企画立案実習 水(2・3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(2・3・4) | 地域協働企画立案実習 水(3・4) 土(2・3・4・5) 日(2・3・4) | 地域協働企画立案実習 水(3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(4・5) 土(2・3・4) |
| 3 | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4・5) | 地域協働マネジメント実習 金(3・4) | 地域協働マネジメント実習 金(3・4) | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4・5) 土(1・2・3・4) 日(1・2・3・4) | 地域協働マネジメント実習 金(3・4・5) |
| | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 |
| 1 | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 なし | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 火(3・4) |
| 1 | 課題探求 B組 ②班 火(3・4・5) ①班 日(2・3・4) | 課題探求 B組 火(3・4) | 課題探求 B組 なし | 課題探求 B組 火(3・4) | 課題探求 B組 ①班 火(3・4・5) ②班 日(2・3・4) |
| 2 | 地域協働企画立案実習 水(3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(2・3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(2・3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(3・4・5) |
| 3 | 地域協働マネジメント実習 なし | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4) | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4・5) | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4) | 地域協働マネジメント実習 なし |
| | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| 1 | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 ①班 火(3・4・5) ②班 日(2・3・4) | 課題探求 A組 火(3・4) | 課題探求 A組 なし | 課題探求 A組 火(3・4) |
| 1 | 課題探求 B組 火(3・4) | 課題探求 B組 火(3・4) | 課題探求 B組 火(3・4・5) | 課題探求 B組 火(3・4) | 課題探求 B組 火(3・4) |
| 2 | 地域協働企画立案実習 なし | 地域協働企画立案実習 水(4・5) 土(3・4) | 地域協働企画立案実習 水(3・4・5) | 地域協働企画立案実習 水(4・5) 土(3・4) | 地域協働企画立案実習 土(2・3・4) |
| 3 | 地域協働マネジメント実習 なし | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4) | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4・5) 土(1・2・3・4) 日(1・2・3・4) | 地域協働マネジメント実習 金(2・3・4・5) | 地域協働マネジメント実習 金(4・5) 土(2・3・4) |

実習先が同じ2・3年合同実習

第2学期の実習授業のスケジュール

| 配当 年次 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|----------|--|----------------------------|---------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 地域理解実習 火(3・4・5) 土(2・3・4) | 地域理解実習 火(3・4) | 地域理解実習 火(3・4) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) |
| 2 | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) 土(2・3・4) | 事業企画プロジェクト実習 水(4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(3・4) | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) |
| 3 | 教えるプロジェクト実習 金(2・3・4・5) 土(2・3・4) | 教えるプロジェクト実習 金(2・3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(2・3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) |
| | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 |
| 1 | 地域理解実習 火(3・4) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4) |
| 2 | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) 土(2・3・4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(4・5) 土(2・3・4) | 事業企画プロジェクト実習 水(4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) |
| 3 | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(2・3・4・5) |
| | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| 1 | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) | 地域理解実習 火(3・4・5) |
| 2 | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(2・3・4・5) | 事業企画プロジェクト実習 水(4・5) 土(2・3・4) |
| 3 | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) 土(1・2・3・4) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) | 教えるプロジェクト実習 金(3・4・5) 土(2・3・4) |

実習先が同じ2・3年合同の現地研修

課題探求実践セミナー(1年次第1学期)

| 実施クラス | 受講定員 | 実習先 | 移動時間 |
|---------------|------|------|---------|
| 地域協働入門Ⅰ(A組①班) | 15名 | 4市町村 | 15分～90分 |
| 地域協働入門Ⅱ(B組①班) | 15名 | 4市町村 | 15分～90分 |
| 地域協働入門Ⅲ(A組②班) | 15名 | 4市町村 | 15分～90分 |
| 地域協働入門Ⅳ(B組②班) | 15名 | 4市町村 | 15分～90分 |

【時間】 38
事前・中間・事後指導
 現地研修 24
 合計 62

クラスをAとBの2つの組に分けて授業日を設定する。
 「日曜日」実習は組全体で行う。
 他の市町村実習は、授業実施日に各班ごとに行う。

実習先
 高知市「日曜日」
 黒潮町
 大豊町
 佐川町

| 組 | 場所 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|---|----|--|----------------------------|----------|----------------------------|----------------------------|
| A | 学内 | 授業の課題及びサービスマーケティング①事前指導 サービスマーケティング①「日曜日」実施 | サービスマーケティング①振り返り | 火(3・4) 4 | サービスマーケティング②事前指導 | 火(3・4) 4 |
| | 学外 | 日(2・3・4) 6 | | | | サービスマーケティング②実施①班(大豊)②班(佐川) |
| B | 学内 | | 授業の課題及びサービスマーケティング①事前指導 | 火(3・4) 4 | | サービスマーケティング②事前指導 |
| | 学外 | 日(2・3・4) 6 | サービスマーケティング①「日曜日」実施 | | | |
| 組 | 場所 | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 |
| A | 学内 | サービスマーケティング②振り返り | | 火(3・4) 4 | | サービスマーケティング③振り返り |
| | 学外 | | | | サービスマーケティング③実施①班(黒潮)②班(大豊) | |
| B | 学内 | | サービスマーケティング②振り返り | 火(3・4) 4 | | |
| | 学外 | サービスマーケティング②実施①班(黒潮)②班(大豊) 6 | | | サービスマーケティング③事前指導 | ①火(3・4・5) ②日(2・3・4) 6 |
| 組 | 場所 | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| A | 学内 | サービスマーケティング④事前指導 | | 火(3・4) 4 | | 報告・交流会(学年全体) 4 |
| | 学外 | | サービスマーケティング④実施①班(佐川)②班(黒潮) | | | |
| B | 学内 | サービスマーケティング③振り返り | サービスマーケティング④事前指導 | 火(3・4) 4 | | 報告・交流会(学年全体) 4 |
| | 学外 | | | | サービスマーケティング④振り返り | 火(3・4) 4 |

※表内の曜日(数字)は授業の開講時限を表す。

地域理解実習のスケジュール(1年次第2学期)

| 実施クラス | 受講定員 | 実習先 | 移動時間 | 場所 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|------------|------|------|------|-----|------------------------------------|---|---|-----------------------------------|-----------------------------|
| 行政A・6次A | 6名以内 | 仁淀川町 | 75分 | 学内 | 課題・基本情報に関する事前指導 火(3・4・5) 6 | 合同ミーティングに関する振り返り 火(3・4) 4 | 地域又は組織関係者へのヒアリング及び地域活動参加に関する事前指導 火(3・4) 4 | ヒアリング①の実施 火(3・4・5) 6 | ヒアリング①の実施 火(3・4・5) 6 |
| 行政B・6次B | 6名以内 | 高知市内 | 30分 | | 地域組織・行政との合同ミーティング 土(2・3・4) 6 | | 地域活動参加 日(2・3・4) 6 | | |
| 行政C・6次C | 6名以内 | 香南市 | 60分 | | | | | | |
| 行政D・6次D | 6名以内 | 高知市内 | 20分 | 学外 | | | | | |
| 産業A | 6名以内 | 四万十町 | 75分 | | | | | | |
| 産業B・6次E | 6名以内 | 黒潮町 | 90分 | | | | | | |
| 産業C・6次F | 6名以内 | 高知市内 | 20分 | 学内 | ヒアリング結果報告の準備 火(3・4) 4 | ヒアリング結果報告振り返り&地域活動参加事前指導 火(3・4・5) 6 | 地域活動の振り返り&地域特性理解ワークショップ①事前指導 火(3・4・5) 6 | 地域特性理解ワークショップ①準備 火(3・4・5) 6 | ワークショップ①振り返り 火(3・4) 4 |
| 産業D・6次G | 6名以内 | 大豊町 | 60分 | | | | | | |
| 生活・文化A | 6名以内 | いの町 | 20分 | | | | | | |
| 生活・文化B | 6名以内 | 高知市内 | 20分 | 学外 | ヒアリング結果報告(現地) 日(2・3・4) 6 | 地域活動参加 日(2・3・4・5) 8 | | ワークショップ①実施 日(2・3・4) 6 | |
| 生活・文化C・6次H | 6名以内 | 大月町 | 180分 | | | | | | |
| 生活・文化D・行政E | 6名以内 | 高知市内 | 20分 | | | | | | |
| | | | | 学内 | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| 事前・中間・事後指導 | 【時間】 | | | | 58 | | | | |
| 現地研修 | 【時間】 | | | | 64 | | | | |
| 合計 | 【時間】 | | | 122 | | | | | |

※表内の曜日(数字)は授業の開講時限を表す。

地域協働企画立案実習のスケジュール(2年次第1学期)

| 実施クラス | 受講定員 | 実習先 | 移動時間 | 場所 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|------------|------|------|------|----|--|--|---|--|---|
| 6次産業化人 | 10名 | 黒潮町 | 90分 | 学内 | 課題・基本情報に関する事前指導 水(2・3・4・5) 8 | 合同MTについての振り返り&地域資源調査の以前指導 水(2・3・4) 6 | 地域資源調査に関する事前指導 水(3・4) 4 | 地域資源調査についての振り返り&データのまとめ 水(3・4・5) 6 | 地域資源活用ワークショップ①事前指導 水(4・5) 4 |
| 産業A | 10名 | 大豊町 | 60分 | | 地域組織・行政との合同ミーティング(2・3年合同) 土(2・3・4) 6 | | | | 地域住民と地域資源活用ワークショップ①の実施 土(2・3・4) 6 |
| 産業B | 10名 | 高知市内 | 20分 | 学外 | | | | | |
| 行政A | 10名 | 仁淀川町 | 75分 | | | | | | |
| 行政B | 10名 | 香南市 | 60分 | | | | | | |
| 生活・文化 | 10名 | いの町 | 20分 | | | | | | |
| | | | | 場所 | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 |
| 事前・中間・事後指導 | | | | 学内 | ワークショップ①の振り返りと地域資源追加調査準備 水(3・4・5) 6 | | | 地域資源活用ワークショップ②事前指導 水(3・4・5) 6 | ワークショップ②の振り返りと地域資源活用企画立案事前指導 水(3・4・5) 6 |
| 現地研修 | | | | 学外 | | 地域資源追加調査の実施 水(2・3・4・5) 8 | 地域資源追加調査の実施 水(2・3・4・5) 8 | 地域資源活用ワークショップ②の実施 土(3・4) 4 | |
| 合計 | | | 120 | 場所 | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| | | | | 学内 | | 企画案中間報告の以前指導 水(4・5) 4 | 企画案改善課題の分析と改善案作成に対する指導 水(3・4・5) 6 | 企画案最終の事前指導&準備作業 水(4・5) 4 | |
| | | | | 学外 | | 企画案現地中間報告(地域組織・行政からコメント) 土(3・4) 4 | | 企画立案現地最終報告 土(3・4) 4 | 現地報告会・交流会(全年) |

※表内の曜日(数字)は授業の開講時限を表す。

事業企画プロジェクト実習のスケジュール(2年次第2学期)

| 実施クラス | 受講定員 | 実習先 | 移動時間 | 場所 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|------------|------|------|------|----|--|--|--|-------------------------------------|---|
| 6次産業化人 | 10名 | 黒潮町 | 90分 | 学内 | 事業企画に関する課題・基本情報に関する事前指導 水(2・3・4・5) 8 | 合同MTIについての振り返り 水(4・5) 4 | | 開発方法に関する振り返りとデータ収集 水(3・4) 4 | |
| 産業A | 10名 | 大豊町 | 60分 | | 地域組織・行政との合同ミーティング(2・3年合同) 土(2・3・4) 6 | | 現地特産品開発現場の視察及び事業企画打ち合わせ 水(2・3・4・5) 8 | | 地域組織のメンバーと最終的な開発方法に関する検討 水(2・3・4・5) 8 |
| 産業B | 10名 | 高知市内 | 20分 | 学外 | | | | | |
| 行政A | 10名 | 仁淀川町 | 75分 | | | | | | |
| 行政B | 10名 | 香南市 | 60分 | | | | | | |
| 生活・文化 | 10名 | いの町 | 20分 | | | | | | |
| | | | | 場所 | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 |
| 事前・中間・事後指導 | | | 56 | 学内 | 最終的な施策方法の選定及び試作の準備 水(2・3・4・5) 8 | 試作結果の検討 水(4・5) 4 | 中間報告会準備 水(4・5) 4 | 中間報告会の振り返りと改善策の検討 水(4・5) 4 | |
| 現地研修 | | | 64 | 学内 | | | | | |
| 合計 | | | 120 | 学外 | 地域組織のメンバーと試作 土(2・3・4・5) 8 | | 現地中間報告会・交流会 土(2・3・4) 6 | | 地域組織のメンバーと改善案に関する試作 水(2・3・4・5) 8 |
| | | | | 場所 | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| | | | | 学内 | 試作結果の振り返り、最終開発案の作成指導 水(2・3・4・5) 8 | | 検討会議の振り返りと最終計画の作成指導 水(2・3・4・5) 8 | | 現地報告会準備指導 水(4・5) 4 |
| | | | | 学外 | | 地域組織・行政との開発及び事業計画検討会議 水(2・3・4・5) 8 | | 地域組織のメンバーとの最終計画の決定 水(3・4・5) 6 | 現地報告会・交流会(全年) 土(2・3・4) 6 |

※表内の曜日(数字)は授業の開講時間を表す。

地域協働マネジメント実習のスケジュール(3年次第1学期)

| 実施クラス | 受講定員 | 実習先 | 移動時間 | 第1週 | | 第2週 | | 第3週 | | 第4週 | | 第5週 | | |
|--------|------|------|------|---------------------------|----------------|------------------------|--------------------------|------------------|--|----------------------------|--|--------------|---------------|---------------|
| | | | | 事業計画実施に関する事前指導 | 合同MTIについての振り返り | 金(2・3・4・5) 8 | 金(3・4) 4 | 事業計画の試行実施準備指導 | 金(3・4) 4 | 第1回試行実施準備及び実施、振り返り(合宿2泊3日) | 金(2・3・4・5) 土(1・2・3・4) 日(1・2・3・4) 24 | 事業計画改善案の作成指導 | 金(3・4・5) 6 | |
| 6次産業化人 | 10名 | 黒潮町 | 90分 | 地域組織・行政との合同ミーティング(2・3年合同) | 学内 | 金(2・3・4・5) 8 | 金(3・4) 4 | 事業計画の試行実施準備指導 | 金(3・4) 4 | 第1回試行実施準備及び実施、振り返り(合宿2泊3日) | 金(2・3・4・5) 土(1・2・3・4) 日(1・2・3・4) 24 | 事業計画改善案の作成指導 | 金(3・4・5) 6 | |
| 産業A | 10名 | 大豊町 | 60分 | | | | | | | | | | | |
| 産業B | 10名 | 高知市内 | 20分 | 地域組織・行政との合同ミーティング(2・3年合同) | 学外 | 土(2・3・4) 6 | | | | | | | | |
| 行政A | 10名 | 仁淀川町 | 75分 | | | | | | | | | | | |
| 行政B | 10名 | 香南市 | 60分 | | | | | | | | | | | |
| 生活・文化 | 10名 | いの町 | 20分 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 場所 | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 | | | | | |
| | | | | 学内 | | | オンライン会議の振り返りと本実施計画案の作成指導 | | | | | | | |
| | | | | 学外 | | 地域組織のメンバーとのオンラインミーティング | 金(2・3・4) 6 | | | 地域組織メンバーとの本実施計画決定会議 | 金(2・3・4) 6 | | | |
| | | | | 場所 | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 | | | | | |
| | | | | 学内 | | | | | | | | | 報告会の準備指導 | 金(4・5) 4 |
| | | | | 学外 | | 地域組織メンバーとの最終調整 | 金(2・3・4) 6 | 協働企画の準備及び実施、振り返り | 金(2・3・4・5) 土(1・2・3・4) 日(1・2・3・4) 24 | | | | 現地報告会・交流会(全年) | 土(2・3・4) 6 |

事前・中間・事後指導【時間】

42

【時間】

78

【時間】

120

合計

※表内の曜日(数字)は授業の開講時間を表す。

教えるプロジェクト実習のスケジュール(3年次第2学期)

| 実施クラス | 受講定員 | 実習先 | 移動時間 | 場所 | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
|----------------|------|------|------|-----|--|---|---|---|-------------------------------------|
| 6次産業化入 | 10名 | 黒潮町 | 90分 | 学内 | 事業評価ワークショップ実施の事前指導 金(2・3・4・5) 8 | 合同ミーティングの振り返り及びワークショップ企画立案指導 金(2・3・4・5) 8 | 企画検討会議の振り返り及びワークショップの実施計画案の作成指導 金(2・3・4・5) 8 | 地域組織のメンバーとワークショップ企画検討会議 金(3・4・5) 6 | 地域組織のメンバーと実施計画検討会議 金(3・4・5) 6 |
| 産業A | 10名 | 大豊町 | 60分 | | 学外 | 地域組織・行政との合同ミーティング(2・3年合同) 土(2・3・4) 6 | | | |
| 産業B | 10名 | 高知市内 | 20分 | | | | | | |
| 行政A | 10名 | 仁淀川町 | 75分 | 学内 | 検討会議に振り返り及び最終計画案の作成指導 金(3・4・5) 6 | 第1回ワークショップ実施要綱の作成指導 金(3・4・5) 6 | 最終実施計画及び実施要綱の決定会議 金(3・4・5) 6 | 第1回ワークショップの実施準備及び実施 金(3・4・5) 土(1・2・3・4) 14 | 振り返りと改善案の検討 金(2・3・4・5) 8 |
| 行政B | 10名 | 香南市 | 60分 | | 学外 | | | | |
| 生活・文化 | 10名 | いの町 | 20分 | | | | | | |
| | | | | 場所 | 第6週 | 第7週 | 第8週 | 第9週 | 第10週 |
| 事前・中間・事後指導【時間】 | | | | 56 | | | | | |
| 現地研修【時間】 | | | | 64 | | | | | |
| 合計【時間】 | | | | 120 | | | | | |
| | | | | 場所 | 第11週 | 第12週 | 第13週 | 第14週 | 第15週 |
| | | | | 学内 | 第2回ワークショップの実施要綱の作成指導 金(3・4・5) 6 | 第2回ワークショップ実施要綱の決定会議 金(3・4・5) 6 | 第2回ワークショップの実施準備及び実施 金(3・4・5) 土(1・2・3・4) 14 | 振り返りとまとめ及び現地報告の事前指導 金(3・4・5) 6 | 現地報告会・交流会(全年) |
| | | | | 学外 | | | | | 土(2・3・4) 6 |

※表内の曜日(数字)は授業の開講時限を表す。

地域協働企画立案実習 実習モデル（仁淀川町長者地域集落活動センター「だんだんの里」〈運営団体：地域ボランティア組織「だんだんくらぶ」〉）

第1週

〔学内〕授業の概要説明、仁淀川町長者地域の説明（専任教員）

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後合同ミーティング（役場職員による当該地域の説明及び課題提起、「だんだんくらぶ」担当者による組織概要の説明及び課題提起、学生による前年度までの活動の説明、全体スケジュールの確認、全体の自己紹介）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

担当教員は、学生を引率して実習現場で学生の活動を観察するとともに安全管理を行う。1クラス10名に対して、本学部専任教員2名と市町村職員1名、高知県地域支援企画員1名の計4名が実習先で学生の指導にあたる他、実習先地域の「だんだんくらぶ」メンバー2名から学生指導を得られるので、安全の確保及び実習教育効果の担保は十分に可能である。

昼食は学生自己負担。

第2週

〔学内〕合同ミーティングについて振り返り（グループワーク）、仁淀川町長者地域の課題整理、地域資源調査の方法、意義に関する指導（専任教員）

第3週（土日1泊2日）

〔学内〕地域資源調査の項目整理、調査合宿についての指導（専任教員）

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、「だんだんくらぶ」メンバーによる地域資源発掘の指導（安全指導含む）と資源調査の実施（地域側担当者が当日までに地元参加者をコーディネート）、調査データの現地整理及び一次報告（教員が現地指導）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

宿泊は、公民館及び自主防災センター（無料）、食事（昼・夜・朝・昼4食）は「だんだんの里」の「農家レストラン」にて行う（学生自己負担）。

第4週

[学内] 地域調査の振り返り、データのまとめ方に関する指導（専任教員）、データ整理

第5週

[学内] 地域調査結果のデータ整理、地域資源ワークショップの運営方法に関する指導（学内教員）、ワークショップの運営方法の確定

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、地域資源ワークショップ実施（参加者を地域側担当者がコーディネート、行政職員の参加は行政担当者がコーディネート）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第6週

[学内] ワークショップの振り返り、地域資源追加調査に関する指導（学内教員）、調査項目の設定

第7週

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、学生が「だんだんくらぶ」メンバー及び調査参加住民に対して地域資源追加調査の趣旨と課題を説明、その後ともに調査実施（地域側担当者は、当日までに調査参加者をコーディネート）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第8週

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、地域資源追加調査の実施、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第9週

[学内] 追加調査結果のデータ整理、地域資源ワークショップの運営方法に関する指導（学内教員）、ワークショップの運営方法の確定

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、地域資源ワークショップ実施（地域側担当者は地元のワークショップ参加者をコーディネート）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散
昼食は学生自己負担。

第10週

[学内] ワークショップの振り返り、地域資源活用企画の立案方法等に関する指導（学内教員）、活用企画案の作成

第12週

[学内] 活用企画案の中間報告の準備、報告内容、方法等に関する指導（学内教員）

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、行政担当者、だんだんくらぶ関係者、地域住民に対して中間報告を実施（地域側担当者は当日までに報告会参加者をコーディネートする。参加者はコメントおよび指導を行う）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第13週

[学内] 企画案の課題分析、企画改善案に関する指導（学内教員）

第14週

[学内] 最終企画案の準備、報告会の注意点についての指導（学内教員）

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、地域住民、だんだんくらぶ、行政に対する最終企画案報告会の実施（地域側担当者は報告会参加者を当日までにコーディネート、地域側参加者はコメント及び指導）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第15週

[学内] 報告会および交流会の実施

事業企画プロジェクト実習 実習モデル（仁淀川町長者地域集落活動センター「だんだんの里」〈運営団体：地域ボランティア組織「だんだんくらぶ」〉）

第1週

〔学内〕授業の概要説明、仁淀川町長者地域の説明

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後合同ミーティング（役場職員による当該地域における事業企画等の現状と課題の提起、だんだんくらぶ担当者による事業企画等の現状と課題の提起、学生による前学期の活動の説明、全体スケジュールの確認、全体の自己紹介）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

担当教員は、学生を引率して実習現場で学生の活動を観察するとともに安全管理を行う。1クラス10名に対して、本学部専任教員2名と市町村職員1名、高知県地域支援企画員1名の計4名が実習先で学生の指導にあたる他、実習先地域の「だんだんくらぶ」メンバー2名から学生指導を得られるので、安全の確保及び実習教育効果の担保は十分に可能である。

昼食は学生自己負担。

第2週

〔学内〕合同ミーティングについて振り返り（グループワーク）、事業企画の方法、意義、特産品開発現場の視察に関する指導（学内教員）

第3週

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、特産品開発現場の視察に関する説明（安全指導含む）、視察の実施、特産品に関する指導、「だんだんくらぶ」メンバーとの事業企画打ち合わせ、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第4週

〔学内〕開発方法打ち合わせの振り返り、関連データの収集に関する指導（学内教員）、データ収集

第5週

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、だんだんくらぶメンバーと最終的な開発方法に関する検討会議、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第6週

[学内] 試作実施に関する指導（学内教員）、最終的な試作方法の選定、試作準備

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、だんだんくらぶメンバーによる事業試行に関する指導(安全指導含む)、試作の実施（地域側担当者の技術指導含む）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

事業試行に際しては、本学部専任教員2名と実習先地域の「だんだんくらぶ」メンバー2名の他、地元で事業企画を行っている女性グループの2～3名から指導を得られるので、安全の確保及び実習教育効果の担保は十分に可能である。

第7週

[学内] 試作結果の検討、評価方法に関する指導（学内教員）

第8週

[学内] 中間報告会の準備

[学外：「だんだんの里」] 高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、地域住民、行政、「だんだんくらぶ」メンバーに対する報告会、交流会の実施（地域側担当者は当日までに参加者をコーディネートする。地域側参加者はコメント・指導を行う）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第9週

[学内] 中間報告会の振り返り、改善方法に関する指導（学内教員）、改善策の検討

第10週

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、だんだんくらぶメンバーによる改善策に対する指導を受けて調整した後、試作を実施（技術的指導を含む）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第11週

〔学内〕試作結果の振り返り、最終開発案に関する指導（学内教員）

第12週

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、行政担当者、だんだんくらぶメンバーとの開発および事業計画検討会議を実施、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第13週

〔学内〕検討会議の振り返り、最終計画に関する指導（学内教員）

第14週

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、「だんだんくらぶ」メンバーと最終計画案の検討、最終計画の確定、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

第15週

〔学内〕報告会の準備、報告会の内容・運営方法に関する指導（学内教員）

〔学外：「だんだんの里」〕高知大学集合、学内公用車で移動、到着後、地域住民、行政、「だんだんくらぶ」メンバーを交えた報告会および交流会の実施（地域側担当者は当日までに参加者をコーディネートする。地域側参加者は、報告にコメント指導を行う）、終了後、学内バスで移動、高知大学到着後、解散

昼食は学生自己負担。

資料 10 「アクションプランによる授業改善」
及び

「アクションプランによる授業改善（実習版）」

「アクションプランによる授業改善」の手順

1. 授業改善支援プログラム利用希望者のとりまとめ(授業開始期)

各部局において、授業改善支援プログラムを実施することを教員に告知し、授業改善に関して本プログラムの利用を希望する教員を取りまとめて総合教育センター大学教育創造部門に報告する。本プログラムを利用する教員は、第5週目アンケート、相互授業参観、ピア・レビュー、ミッドターム・スチューデント・フィードバック(※)のうちいずれかの授業分析ツールを選択し、授業を開始する。

※ミッドターム・スチューデント・フィードバック

第5週目授業改善アンケートに替えて、授業開始第5週目時期に、当該授業時間の20分程度を使って、大学教育創造部門教員が受講生から授業についての簡単なヒアリングを行い、その結果を当該授業担当教員に報告する手法。

2. 授業の自己分析(授業中間期)

当該教員は、第5週目授業改善アンケート、相互授業参観、ピア・レビュー、ミッドターム・スチューデント・フィードバックのうちいずれかの手法によって授業の自己分析を行う。この際、大学教育創造部門の教員は以下のような形でこれに加わる。

・第5週目授業改善アンケート

アンケート結果が出された時点で、当該教員とアンケート結果をもとに授業の分析とともにを行い、改善のためのアクションプランの作成に協力する。

・相互授業参観

各部局が実施する授業参観と授業後の検討会に加わり、その内容をもとに当該教員の授業の自己分析とアクションプランの作成に協力する。

・ピア・レビュー

当該教員が専門分野の隣接する同僚等による授業参観とその後の意見交換を行う際に、大学教育創造部門もこれに加わり、その内容をもとに授業の自己分析とアクションプランの作成に協力する。

・ミッドターム・スチューデント・フィードバック

大学教育創造部門教員が行う学生へのヒアリング結果を当該教員に伝え、その内容をもとに授業の自己分析とアクションプランの作成に協力する。

3. アクションプランの分析(第7～8週目)

大学教育創造部門教員は、当該教員の授業を参観し、アクションプランの効果等について受講生の様子を観察する。授業後、その内容を当該教員と共有し、改善点などについて意見交換する。

4. 授業改善の検証(授業終了期)

当該教員は授業改善検証アンケートを実施し、その結果を大学教育創造部門教員とともに検討する。また、以上の授業改善の経緯を記録に残し授業改善記録とする。

「アクションプランによる授業改善(実習版)」

授業期間中に改善を行いその効果を検証する従来の「アクションプランによる授業改善」の基本的な考え方を踏襲する。つまり、中間期に当該授業についての情報を収集・分析し、それをもとに「アクションプランによる授業改善(実習版)」を実施・検証するものである。

●実習中間期アンケート

・第Ⅱ期教育力向上3ヵ年計画の基本方針における「5つの教育力」に対応したアンケート(実習対応版)を開発。

・中間期にアンケートを実施。

・アンケート結果が出された時点で、当該教員が結果をもとに授業を分析し、改善のためのアクションプランを作成する。希望があれば専門家としての第三者(総合教育センター大学教育創造部門教員)が分析・作成の支援を行う。

[従来版との違い]

・講義科目に対応させていた質問項目を実習科目の対応できるように変更。

●Midterm Student & Partner Feedback

・中間期に受講学生およびコミュニティ・パートナー(実習受け入れ地域)から当該授業についての簡単なヒアリングを専門家(総合教育センター大学教育創造部門教員)が行う(対面もしくは電話等)。

・当該教員が結果をもとに授業を分析し、改善のためのアクションプランを作成する。希望があれば専門家としての第三者(総合教育センター大学教育創造部門教員)が分析・作成の支援を行う。

[従来版との違い]

・実習先の地域の方から、学生の動き・変化等について直接インタビューすることによって、授業設計者である教員の立場からはとらえにくい授業実態についてのデータを得ることが可能。

●「学生－教員」実習改善ダイアログ

・中間期に授業改善ダイアログ(学生と教員が同席して、ざっくばらんに授業について対話する機会)を実施する。

・対話には専門家(総合教育センター大学教育創造部門教員)も同席する。

・当該教員が結果をもとに授業を分析し、改善のためのアクションプランを作成する。希望があれば専門家としての第三者(総合教育センター大学教育創造部門教員)が分析・作成の支援を行う。

・受講生10名以下の授業に活用する。

[従来版との違い]

・大人数講義ではなく少人数実習授業であるので、ある程度の間人関係ができていの中で、授業主体である受講生と担当教員が本音で語り合う場を設ける。

共通教育「期末アンケート」(実習版)(回答理由記述式)

【全授業共通質問】

★下記の質問に、はい①～いいえ⑤の5段階評価で回答して下さい。〔回答番号を塗りつぶして下さい〕
また回答の理由について記述して下さい。

| | | | | | |
|----|------------|-----------|------------|-----|--|
| | | | | | |
| はい | どちらかというとはい | どちらともいえない | どちらかというといえ | いいえ | |

| | |
|--|-----------|
| 1. この授業で教員は、受講生の関心や好奇心を高めるように実習を進めていると思いますか？ | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 【回答の理由】 | |

| | |
|---|-----------|
| 2. この授業で教員は、受講生の技術・能力の到達度や興味・関心を確認しながら実習指導していると思いますか？ | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 【回答の理由】 | |

| | |
|--|-----------|
| 3. この授業で教員は、受講生の能力を引き出し、高めることができるように努めていると思いますか？ | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 【回答の理由】 | |

| | |
|--|-----------|
| 4. この授業で教員は、受講生の意欲的・自主的な学びを引き出すための工夫をしていると思いますか？ | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 【回答の理由】 | |

| | |
|--|-----------|
| 5. この授業で教員は、授業をより良くするための試みをしていると思いますか？ | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 【回答の理由】 | |

| | |
|----------------------------------|-----------|
| 6. この授業は、総合的に考えて、満足がいくものだと思いますか？ | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 【回答の理由】 | |

【授業到達目標の達成】

| | |
|---|-----------|
| 1 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 2 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 3 | ① ② ③ ④ ⑤ |

裏に続きます。⇒⇒⇒

【自由記述】

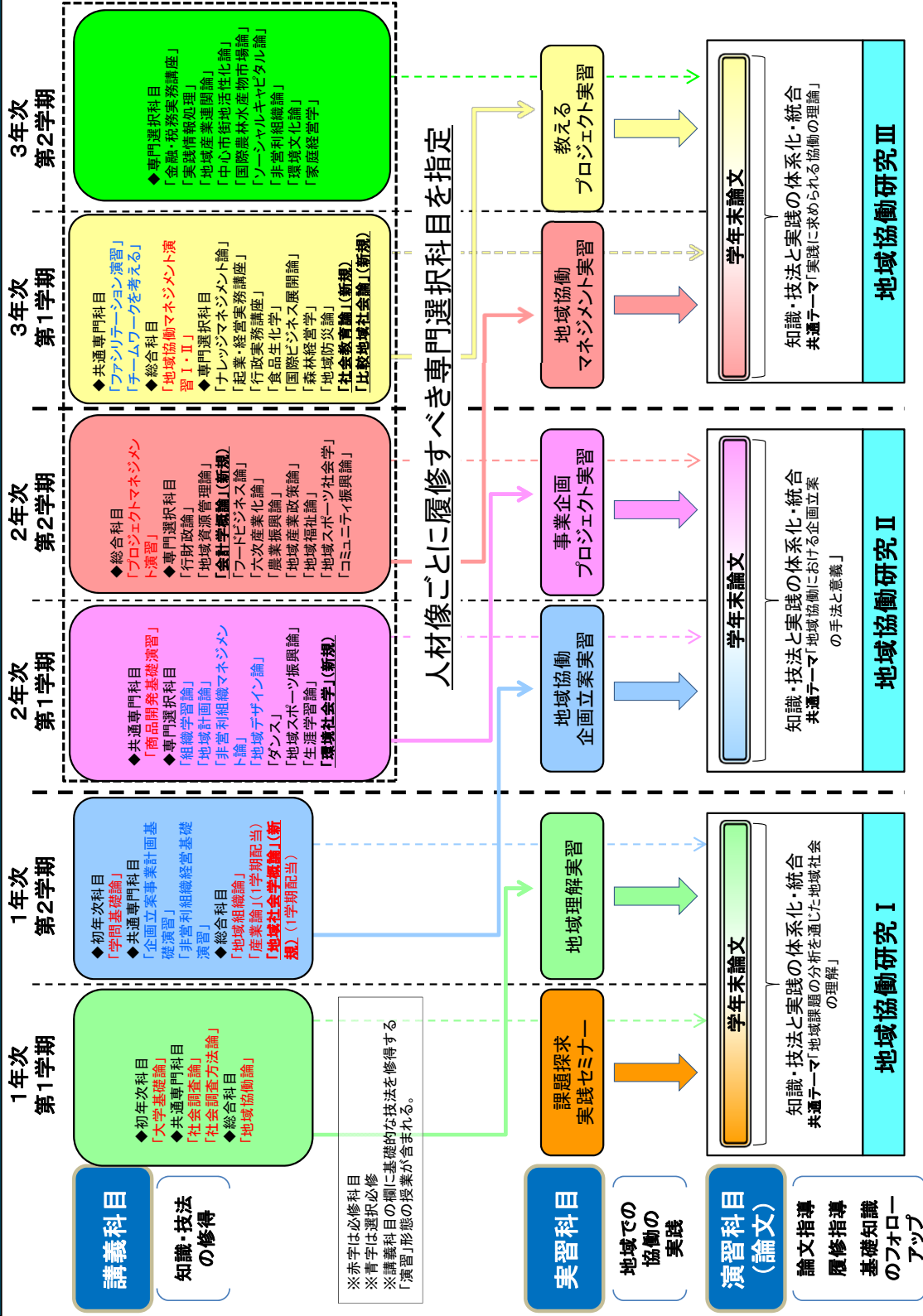
あなたが、この授業に関して感じていることを、自由に記述して下さい。

とくに、この授業の「良かった点」および「改善して欲しい点」について、強く感じていることを記述して下さい。

ご協力ありがとうございました。

資料 11 演習，実習，講義科目の関係性，体系性
及び実習先と実習授業の対応・科目の概要
並びに実習受入承諾書

演習、実習、講義科目の関係性、体系的性



実習先と実習授業の対応

| 実習先 | 特色 | 受入可能人数 | 1年 | 2年 | 3年 | 対応する人材 |
|---------------------------------|--|--------|--------------|------------------------|-------------------------|-----------------|
| ①高知市「日曜市」 (高知市役所街路市係) | 江戸時代から続いている街路市であり、生活市、観光市として重要な機能を有する。出店者の高齢化等により衰退しつつあり、高知市が振興策を進めている。出店者(農業、食品加工業)との交流によって第1次産業から第3次産業まで体験できる。 | 20名 | 課題探求 地域理解 | | | 行政 6次産業化人 |
| ②黒潮町 | 役場、NPO法人が中心となっており、地域資源を活用した特産品開発及び観光開発を行っている。各集落では南海大地震に備えた地域防災活動が展開されている。第1次産業としては花卉園芸、園芸農業、漁業を、第2次産業としては食品加工業(缶詰工場)、第3次産業としては「道の駅」等の商業を体験できる。 | 15名 | 課題探求 | | | 全人材 |
| ③大豊町 | 役場及び「ゆとりすパーク」が地域資源の活用と観光を結びつけた総合開発を行っている。高齢化比率が50%を超える中で、役場と集落が協働して中山間地域の維持振興策を実施している。第1次産業としては農業及び林業、第2次産業としては木材加工業、第3次産業としてはNEXCO西日本が経営するサービスマン施設を体験できる。 | 15名 | 課題探求 | | | 全人材 |
| ④佐川町 | NPO法人が旧斗賀野村全域を対象に環境保全、農業振興、文化・生活の振興、それらを活かした観光振興までの総合開発を進めている。役場が地域づくりアドバイザー・リーダー養成事業を行うとともに中山間集落の維持・振興策を推進している。農業、酒造業、商店街(商業)の体験ができる。 | 15名 | 課題探求 | | | 全人材 |
| ⑤集落活動センター「だんだんの里」 (仁淀川町長者地区) | 行政(仁淀川町役場)及び高知県地域支援企画員と協働して農業資源を活かした特産品開発及び観光産業化を進めている。特産品開発、観光事業開発に関して実習プログラムを設定する。 | 12名 | 地域理解 | 地域協働企画立案 事業企画プロジェクト | 地域協働マネジメント 教えるプロジェクト | 行政 6次産業化人 |
| ⑥中川地区活性化協議会 (高知市土佐山村) | 行政(高知市及び高知県支援企画員)と協働して農林業資源を活かした特産品の加工・販売を展開しており、観光事業開発も進めている。同協議会は直販店を経営している。 | 10名 | 地域理解 | | | 行政 6次産業化人 |
| ⑦西川地区集落活動センター (香南市西川地区) | 1年50万円の年取を基に生きがいを持って暮らせる地域づくりを目標に、集落活動センターにおける地域の農業資源(新規開発含む)を活かした特産品開発及び都市農村交流事業開発、行政(香南市)及び高知県地域支援企画員との協働を進めている。特産品開発、都市農村交流事業開発に関して実習プログラムを設定する。 | 15名 | 地域理解 | 地域協働企画立案 事業企画プロジェクト | 地域協働マネジメント 教えるプロジェクト | 行政 6次産業化人 |
| ⑧海洋堂ホビー館(四万十町) | 海洋堂と地域住民が協働して「ホビー館」を起点に観光開発による地域振興を行っている。 | 10名 | 地域理解 | | | 産業 |
| ⑨MAPROK (黒潮町) | 地元花弁園芸農家と協働して「ハネモノの花をブリザードフラワー」に加工・販売すること地域園芸農業の振興と障害者が働く場の確保を進めるベンチャー企業である。材料仕入れ先の開拓、商品開発、販路の開拓にかかわって実習プログラムを設定する。 | 13名 | 地域理解 | 地域協働企画立案 事業企画プロジェクト | 地域協働マネジメント 教えるプロジェクト | 産業 6次産業化人 |
| ⑩(株)土佐セレクトショップ「てんこす」 (高知市) | 高知県全域の特産品開発を協働して進め、それを観光客に販売(土産外販)する中小企業である。高知の1次産品加工業者(農家、農家グループ等を含む)と協働して特産品の開発・販売を行っている。加工・販売に関する実習プログラムを設定する。 | 10名 | 地域理解 | 地域協働企画立案 事業企画プロジェクト | 地域協働マネジメント 教えるプロジェクト | 産業 6次産業化人 |
| ⑪ゆとりすパーク (大豊町) | 大豊町が設置する「高規格キャンプ場」であり経営はNEXCO西日本が指定管理を受けて行っている。大企業組織が行政及び地域住民との協働によって観光開発を柱とする6次産業化を進めている。6次産業化による観光事業開発にかかわって実習プログラムを設定する。 | 20名 | 地域理解 | 地域協働企画立案 事業企画プロジェクト | 地域協働マネジメント 教えるプロジェクト | 産業 6次産業化人 |
| ⑫友自治会 (いの町是及地区) | 高齢化が進む新興住宅地において地域の環境・文化保全を図る活動を進めながらユニクス子園を住民主体で行っている。環境保全活動、文化活動、地域福祉活動にかかわって実習プログラムを設定する。文化活動では、健康ダンス教室などの企画、運営が予定されている。 | 12名 | 地域理解 | 地域協働企画立案 事業企画プロジェクト | 地域協働マネジメント 教えるプロジェクト | 生活・文化 |
| ⑬NPO法人こどもの図書館 (高知市) | こども専門の図書館で子供の健全育成にかかわる多様な活動を展開している。高知県でも有数の経営のしっかりしたNPOである。 | 10名 | 地域理解 | | | 生活・文化 |
| ⑭NPO法人黒潮美センター (大月町) | 地域住民及び地域外市民との協働によって大月町柏島の海・環境・資源を保全・活用した観光産業を軸に地域開発を進めている。 | 10名 | 地域理解 | | | 生活・文化 6次産業化人 |
| ⑮高知県立文学館 (高知市) | 高知県に所縁のある作家等に関する常設展示及び文学に関する企画展示を行っている。その他、「朗読の会」「語り」と紙芝居の会「あつまれみんな！おはなしキャラバン」等、こどもから大人までを対象にした文化活動を定期的に開催している。 | 10名 | 地域理解 | | | 生活・文化 行政 |

実習科目と「身に付く能力」等の関係

| 学年 | 学期 | 科目名称 | 実習先 | 授業科目の概要 | | 対象 | 身に付く能力 | 到達目標 | 指導体制 | 評価基準 | 評価方法・評価の観点 | 移動方法 所要時間 |
|-------------------|---|------------|---------------------------------|---|-----------|---|---|---|---|---|---|--------------|
| | | | | 共通の内容 | 実習先での活動内容 | | | | | | | |
| 1 | | 課題探求実践セミナー | ①高知市「日曜市」 (高知市役所街路市係) | ・市役所・「日曜市」での販売等の業務体験 ・市役所・「日曜市」出店者との意見交換 | 全学生 | ◎【地域理解力】 の基礎形成(共感力、情報収集・分析力、関係性理解力の育成) | 【到達目標①】 地域で活動するための基本マナー、自己管理習慣が身に付いている。 【到達目標②】 地域の状況・地域の人たちとコミュニケーションを取ることができる。 【到達目標③】 地域の状況・地域の人たちの考えを知ることを通じて、状況を把握し、レポート等にまとめることができる。 | 【到達目標①】 活動参加状況 各種レポート マナー、自己管理 活動参加状況 《観点》 【到達目標②】 コミュニケーション 《観点》 【到達目標③】 各種レポート プレゼンテーション 《観点》 状況把握の程度 | 【秀(4)】 到達目標全てを達成 +優秀な「最終レポート」 【優(3)】 到達目標全てを達成 【良(2)】 到達目標2つを達成 【可(1)】 到達目標1つを達成 【不(0)】 到達目標不達成 | 【到達目標①】 出席・活動参加状況 《観点》 【到達目標②】 マナー、自己管理 活動参加状況 《観点》 【到達目標③】 各種レポート プレゼンテーション 《観点》 状況把握の程度 | 路面電車 約20分 公用車 約90分 公用車 約60分 JR 約40分 | |
| | | | ②黒潮町 | ・集落活動(地域防災活動等)・観光活動の体験 ・役場・NPO・住民との意見交換 | | | | | | | | |
| | | | ③大豊町 | ・「ゆとりすとパーク」での商品開発の観察 ・集落活動(耕作放棄地再生・祭り等)の体験 ・役場・住民との意見交換 | | | | | | | | |
| | | | ④佐川町 | ・NPO等の活動(農産品の加工・販売等)の体験 ・役場・NPO・住民との意見交換 | | | | | | | | |
| | | | ⑤高知市「日曜市」 (高知市役所街路市係) | ・観光関連活動・販売活動への参加 ・出店者及び行政職員等へのヒアリング | | | | | | | | |
| 2 | | 地域理解実習 | ⑤集落活動センター「だんだんの里」 (仁淀川町長者地区) | ・観光関連活動・商品開発・販売活動への参加 ・住民及び行政職員等へのヒアリング | 6次 行政 | ◎【地域理解力】 の基礎形成(共感力、情報収集・分析力、関係性理解力の育成) | 【到達目標①】 地域主体の活動を知ることを通じて、地域社会に関心・共感を持つことができる。 【到達目標②】 ヒアリングを行う必要な情報を収集することができる。 【到達目標③】 地域の特性や課題について、ヒアリングを基に、その関係性を理解し、レポート等にまとめることができる。 | 【到達目標①】 活動参加状況 各種レポート 《観点》 【到達目標②】 関心・共感の程度 各種レポート プレゼンテーション 《観点》 【到達目標③】 情報収集の程度 各種レポート プレゼンテーション 《観点》 特性・課題に関する分析・理解の程度 | 【秀(4)】 到達目標全てを達成 +優秀な「最終レポート」 【優(3)】 到達目標全てを達成 【良(2)】 到達目標2つを達成 【可(1)】 到達目標1つを達成 【不(0)】 到達目標不達成 | 【到達目標①】 活動参加状況 各種レポート 《観点》 【到達目標②】 関心・共感の程度 各種レポート プレゼンテーション 《観点》 【到達目標③】 情報収集の程度 各種レポート プレゼンテーション 《観点》 特性・課題に関する分析・理解の程度 | 路面電車 約20分 公用車 約75分 公用車 約40分 公用車 約60分 公用車 約75分 公用車 約90分 路面電車 約20分 公用車 約60分 路面電車 約20分 路面電車 約20分 路面電車 約180分 路面電車 約20分 | |
| | | | ⑥中川地区活性化協議会 (高知市土佐山村) | ・観光関連活動・特産品の加工・販売活動への参加 ・住民及び行政職員等へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑦西川地区集落活動センター (香南市西川地区) | ・観光関連活動・農耕・農産品加工・販売活動への参加 ・住民及び行政職員等へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑧海洋遊ホビ一館四万十(四万十町) | ・「ホビ一館」のイベント等の事業への参加 ・「ホビ一館」職員及び住民等へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑨MAPROK (黒潮町) | ・加工・販売等の事業への参加 ・経営者・職員・花井園芸農家へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑩(株)土佐セレクトショップ「てんこす」 (高知市) | ・開発・販売等の事業への参加 ・職員・特産品納入者等へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑪ゆとりすとパーク (大豊町) | ・特産品収穫等の事業への参加 ・指定管理者(NEXCO西日本)・顧客へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑫是友自治会 (いの町是友地区) | ・集落活動(環境整備、イベント・祭り等)への参加 ・役員・住民へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑬NPO法人こどもの図書館 (高知市) | ・図書館における業務等への参加 ・職員・ボランティア・利用者へのヒアリング | | | | | | | | |
| | | | ⑭NPO法人黒潮実感セン ター (大月町) | ・観光関連活動・環境保全活動への参加 ・住民及び行政職員等へのヒアリング | | | | | | | | |
| ⑮高知県立文学館 (高知市) | ・図書館における業務等への参加 ・図書館職員・ボランティア・利用者へのヒアリング | | | | | | | | | | | |
| 6次 産 業 | 6次 産 業 | 生活 | 6次 生活 | 行政 | | | | | | | | |

実習科目と「身に付く能力」等の関係

| 学年 | 学期 | 科目名称 | 授業科目の概要 | | 対象 | 身に付く能力 | 到達目標 | 指導体制 | 評価基準 | 評価方法・評価の観点 | 移動方法 所要時間 | | | | |
|----|----|------------|--|---|-------------------|---|--|--|--|--|---|--|---|--|--|
| | | | 共通の内容 | 実習先での活動内容 | | | | | | | | | | | |
| 1 | | 地域協働企画立案実習 | <p>共通の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の探求、資源を活用した企画を立案するワークショップ。 | <p>実習先での活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発」に結びつく資源を発見し、その活用方法を企画立案する。 ・施設利用者」の拡大に結びつく新企画・新商品の開発に資する資源を発見し、その活用方法を企画立案する。 ・特産品として「外商」可能」に結びつく資源（非商品又は地域限定商品）を発見し、その活用方法（「外商」方策）を企画立案する。 ・「特産品の開発」又は「集落活動センター発展」に資する資源を発見し、その活用方法を企画立案する。 | 6次 | ◎【地域課題探求力、発想力の育成】 ◎【地域理解力の形成（論理的思考力の育成）】 | <p>【到達目標①】</p> <p>実習先での活動を通じて、地域における課題を探求・発見することができるとができる。</p> <p>【到達目標②】</p> <p>必要な情報を収集し、企業立案に活用することができる。</p> <p>【到達目標③】</p> <p>実習先の多様な資源を発見・活用し、課題の解決に向けた企画を立案できる。</p> <p>【到達目標④】</p> <p>論理的に表現できる。</p> | <p>【指導教員】</p> <p>1クラス2名</p> <p>【学生】</p> <p>1クラス10名 (全6クラス)</p> <p>※ 学生が、自身の目指す人材像に応じて、実習先を1か所選択する。</p> <p>※ 本実習以降、実習先を固定し、【指導教員】も3年次第2学期まで持ち上らざる体制を採る。</p> | <p>【秀(4)】</p> <p>到達目標全てを達成 +優秀な「企画案」</p> <p>【優(3)】</p> <p>到達目標全てを達成</p> <p>【良(2)】</p> <p>到達目標3つを達成</p> <p>【可(1)】</p> <p>到達目標2つを達成</p> <p>【不可(0)】</p> <p>到達目標達成1つ以下</p> | <p>【到達目標①】</p> <p>活動参加状況 各種レポート プレゼンテーション</p> <p>《観点》</p> <p>課題の分析・理解の程度</p> <p>【到達目標②】</p> <p>各種レポート プレゼンテーション</p> <p>《観点》</p> <p>情報収集の程度</p> <p>【到達目標③】</p> <p>企画案</p> <p>《観点》</p> <p>課題との連関性・独創性・実現可能性</p> <p>【到達目標④】</p> <p>企画案等の論理性</p> | <p>公用車 約90分</p> <p>公用車 約60分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>公用車 約75分</p> <p>公用車 約60分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>路面電車 約20分</p> | | | | |
| | | | | MAPROK (黒潮町) | ゆとりすとパーク (大豊町) | (株)土佐セラレクシオン 「てんこす」 (高知市) | 集落活動センター「ただん の里」 (仁淀川町長者地域) | 西川地区集落活動セン ター (香南市西川地区) | 是友自治会 (いの町是友地区) | | | | | | |
| | | | | 2 | | 事業企画プロジェクト実習 | <p>共通の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業計画立案のプロジェクトを行う。 | <p>実習先での活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発」に結びつく資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業計画立案のプロジェクトを行う。 ・施設利用者」の拡大に結びつく新企画・新商品の開発に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業計画立案のプロジェクトを行う。 ・特産品として「外商」可能」に結びつく資源（非商品又は地域限定商品）を活用し「商品・サービス・事業等」の事業計画立案のプロジェクトを行う。 ・特産品の開発」又は「集落活動センター発展」に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業計画立案のプロジェクトを行う。 | 6次 | ◎【企画立案力】 ◎【基礎形成（商品・事業）開発力、事業計画力の育成】 | <p>【到達目標①】</p> <p>商品（事業）開発及び事業計画の立案に必要な情報を集めることができる。</p> <p>【到達目標②】</p> <p>商品（事業）開発を構想することができる。</p> <p>【到達目標③】</p> <p>商品（事業）開発のための事業計画を立案することができる。</p> | <p>【指導教員】</p> <p>1クラス2名</p> <p>【学生】</p> <p>1クラス10名 (全6クラス)</p> <p>※ 同上</p> | <p>【秀(4)】</p> <p>到達目標全てを達成 +優秀な「事業計画案」</p> <p>【優(3)】</p> <p>到達目標全てを達成</p> <p>【良(2)】</p> <p>到達目標2つを達成</p> <p>【可(1)】</p> <p>到達目標1つを達成</p> <p>【不可(0)】</p> <p>到達目標不達成</p> | <p>【到達目標①】</p> <p>各種レポート プレゼンテーション</p> <p>《観点》</p> <p>情報収集の程度</p> <p>【到達目標②】</p> <p>各種レポート プレゼンテーション</p> <p>《観点》</p> <p>課題との連関性・独創性</p> <p>【到達目標③】</p> <p>事業計画案</p> <p>《観点》</p> <p>課題との連関性・独創性・実現可能性</p> | <p>公用車 約90分</p> <p>公用車 約60分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>路面電車 約20分</p> <p>路面電車 約20分</p> |
| | | | | | | | | MAPROK (黒潮町) | ゆとりすとパーク (大豊町) | (株)土佐セラレクシオン 「てんこす」 (高知市) | 集落活動センター「ただん の里」 (仁淀川町長者地域) | 西川地区集落活動セン ター (香南市西川地区) | 是友自治会 (いの町是友地区) | | |

実習科目と「身に付く能力」等の関係

| 学年 | 学期 | 科目名称 | 実習先 | 授業科目の概要 | | 対象 | 身に付く能力 | 到達目標 | 指導体制 | 評価基準 | 評価方法・評価の観点 | 移動方法 所要時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|--------------|--|--|--|----|---|---|--|---|---|--|---|-------------|---|--|----|--|---|--|---|--|--|---|--|--|--|--|----|--|---|--|---|--|--|
| | | | | 共通の内容 | 実習先での活動内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | | 地域協働マネジメント実習 | ⑨MAPROK (黒潮町) ⑩ゆとりすとパーク (大豊町) ⑩(株)土佐セラレクタショップ 「てんこす」 (高知市) ⑤集落活動センター「たんだんの里」 (仁淀川町長者地域) ⑦西川地区集落活動センター (香南市西川地区) ⑫是友自治会 (いの町是友地区) | ・2年次までに身に付けた能力や知識・技法を活かして活動する ・とともに、事業の評価を行う。 | ・「新製品開発」に結びつく資源を活用した「商品・サービス・事業等」の事業の評価を行う。 ・「施設利用者」の拡大に結びつく新企画・新商品の開発に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業の評価を行う。 ・「特産品として」「外商」可能」に結びつく資源(非商品又は地域限定商品)を活用し「商品・サービス・事業等」の事業の評価を行う。 ・「特産品の開発」又は「集落活動センター」発展」に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業の評価を行う。 ・「地域コミュニティを振興」に結びつく資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業の評価を行う。 | 6次 | ◎【協働実践力】の基礎形成(行動持続力、リーダーシップの育成) ◎【事業評価改善力】のうち「事業評価」の育成 | 【到達目標①】事業計画の達成に向けて、協働を組織し、持続的に実践することができる。 【到達目標②】実践に当たり、2年次までに身に付けた知識及び技法を活用することができる。 【到達目標③】事業評価案を作成できる。 | 【指導教員】1クラス2名 【学生】1クラス10名(全6クラス) ※ 同上 | 【秀(4)】到達目標全てを達成+優秀な「事業評価案」 【優(3)】到達目標全てを達成 【良(2)】到達目標2つを達成 【可(1)】到達目標1つを達成 【不可(0)】到達目標不達成 | 【到達目標①】活動参加状況各種レポートプレゼンテーション 《観点》 主体性・継続性 【到達目標②】活動参加状況各種レポートプレゼンテーション 《観点》 知識・技法の活用 【到達目標③】事業評価案の確信性・妥当性 | 公用車 約90分 公用車 約60分 路面電車 約20分 公用車 約75分 公用車 約60分 路面電車 約20分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 3 | 教えるプロジェクト実習 | ・事業評価案を基に、学習プロセスを設計・構築して、ワークショップを実施・運営し、事業改善案を策定する。 | ・「新製品開発」に結びつく資源を活用した「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「施設利用者」の拡大に結びつく新企画・新商品の開発に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「特産品として」「外商」可能」に結びつく資源(非商品又は地域限定商品)を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「特産品の開発」又は「集落活動センター」発展」に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「地域コミュニティを振興」に結びつく資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 | 6次 | ◎【企画立案力】(事業評価改善力)のうち「事業改善力」の育成 ◎【協働実践力】の形成(学習プロセス構築力、ファシリテーション力の育成) | 【到達目標①】学習プロセス(ワークショップ)の企画・構築ができる。 【到達目標②】ワークショップをファシリテートしながら運営できる。 【到達目標③】関係者の合意形成によって事業改善案をとりまとめることができる。 | 【指導教員】1クラス2名 【学生】1クラス10名(全6クラス) ※ 同上 | 【秀(4)】到達目標全てを達成+優秀な「事業改善案」 【優(3)】到達目標全てを達成 【良(2)】到達目標2つを達成 【可(1)】到達目標1つを達成 【不可(0)】到達目標不達成 | 【到達目標①】各種レポートプレゼンテーション 《観点》 構築力・学習プロセスの妥当性 【到達目標②】活動参加状況各種レポートプレゼンテーション 《観点》 運営力・学習プロセスの妥当性 【到達目標③】事業改善案の確信性・妥当性 | 公用車 約90分 公用車 約60分 路面電車 約20分 公用車 約75分 公用車 約60分 路面電車 約20分 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | ⑨MAPROK (黒潮町) ⑩ゆとりすとパーク (大豊町) ⑩(株)土佐セラレクタショップ 「てんこす」 (高知市) ⑤集落活動センター「たんだんの里」 (仁淀川町長者地域) ⑦西川地区集落活動センター (香南市西川地区) ⑫是友自治会 (いの町是友地区) | ・2年次までに身に付けた能力や知識・技法を活かして活動する ・とともに、事業の評価を行う。 | ・「新製品開発」に結びつく資源を活用した「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「施設利用者」の拡大に結びつく新企画・新商品の開発に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「特産品として」「外商」可能」に結びつく資源(非商品又は地域限定商品)を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「特産品の開発」又は「集落活動センター」発展」に資する資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 ・「地域コミュニティを振興」に結びつく資源を活用し「商品・サービス・事業等」の事業改善案を策定する。 | 6次 | ◎【企画立案力】(事業評価改善力)のうち「事業改善力」の育成 ◎【協働実践力】の形成(学習プロセス構築力、ファシリテーション力の育成) | 【到達目標①】学習プロセス(ワークショップ)の企画・構築ができる。 【到達目標②】ワークショップをファシリテートしながら運営できる。 【到達目標③】関係者の合意形成によって事業改善案をとりまとめることができる。 | 【指導教員】1クラス2名 【学生】1クラス10名(全6クラス) ※ 同上 | 【秀(4)】到達目標全てを達成+優秀な「事業改善案」 【優(3)】到達目標全てを達成 【良(2)】到達目標2つを達成 【可(1)】到達目標1つを達成 【不可(0)】到達目標不達成 | 【到達目標①】各種レポートプレゼンテーション 《観点》 構築力・学習プロセスの妥当性 【到達目標②】活動参加状況各種レポートプレゼンテーション 《観点》 運営力・学習プロセスの妥当性 【到達目標③】事業改善案の確信性・妥当性 | 公用車 約90分 公用車 約60分 路面電車 約20分 公用車 約75分 公用車 約60分 路面電車 約20分 |

